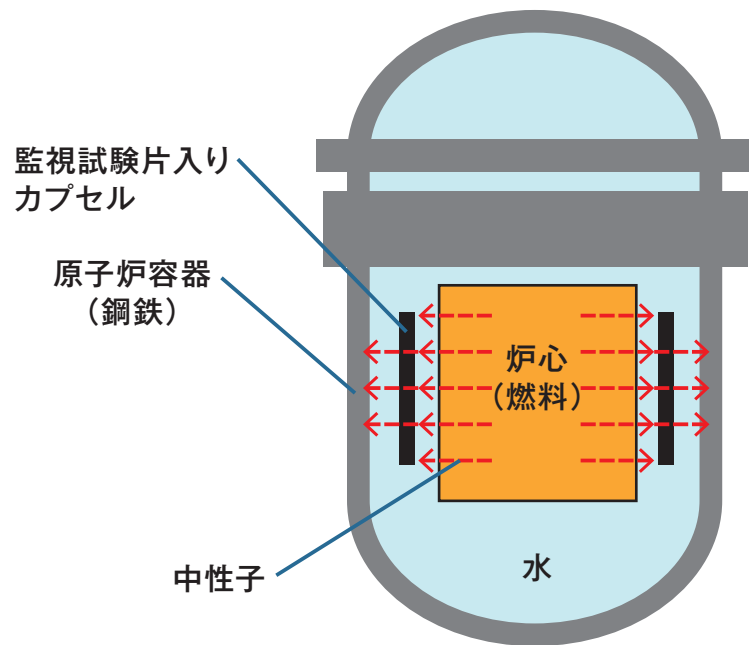


原子炉容器内の監視試験片と延性脆性遷移温度

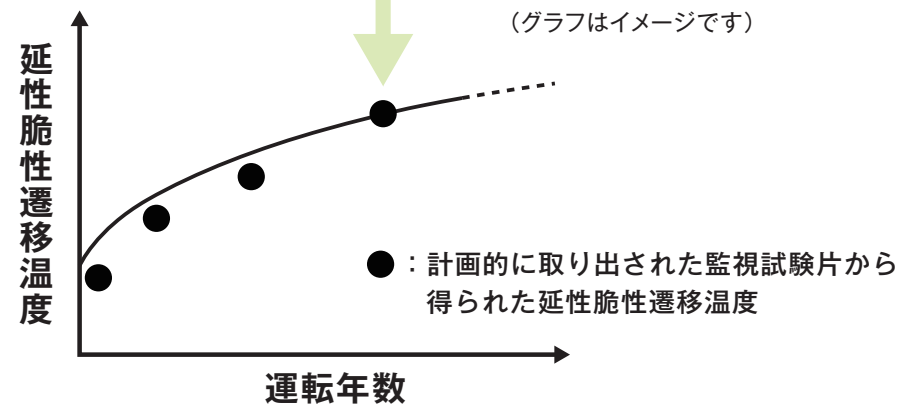
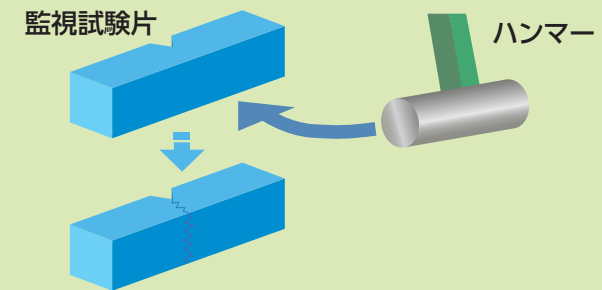
原子炉容器が受ける中性子の影響を監視するために、原子炉容器と同じ材料でできた「監視試験片」があらかじめ原子炉容器内に組み込まれています。「監視試験片」を規格・基準等に則った周期で取り出し、シャルピー衝撃試験を行い、「延性脆性遷移温度」の変化を調べることで、原子炉容器のねばり強さの変化（脆化）を評価することができます。

PWR原子炉容器の中性子照射のイメージ



シャルピー衝撃試験のイメージ

監視試験片を壊すエネルギーを求めて延性脆性遷移温度を算出する



延性脆性遷移温度の変化のイメージ